

株式会社ユニコーン 様

寄贈井戸完成報告・写真

フィリピン ヌエバエシハ州ジェネラルマメルトナティビダード町
マナログ村 シティオパントック

Sitio Pantoc, Brgy. Manarog, General Mamerto Natividad, Nueva Ecija, PHILIPPINES

公益社団法人 アジア協会アジア友の会 (JAFS)

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-2-14

肥後橋官報ビル 5 階

TEL (06) 6444-0587

FAX (06) 6444-0581

E-mail: asia@jafs.or.jp

ホームページ:<https://jafs.or.jp>

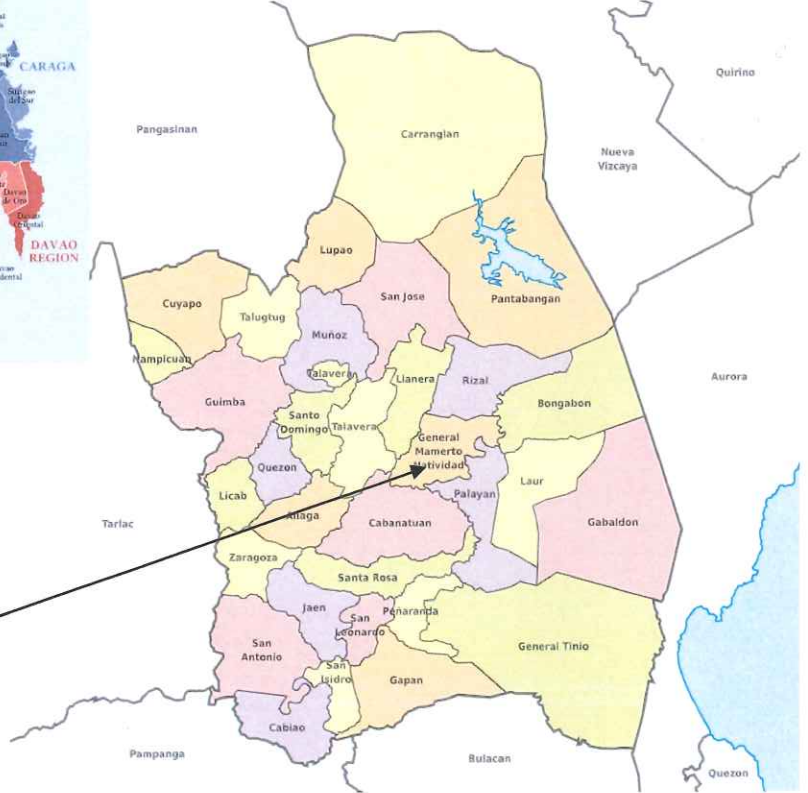
- 寄贈者 株式会社ユニコーン 様
- 完成日 2022年3月
- 現地提携団体 Kalipi Foundation (カリピ財団)
- 寄贈場所 フィリピン ヌエバエシハ州ジェネラルマメルトナティビダード町
マナログ村 シティオパントック
Sitio Pantoc, Brgy. Manarog, General Mamerto Natividad,
Nueva Ecija, PHILIPPINES
- 受益者 約21世帯(約100名)
- 井戸の形式 ポンプ式井戸(深さ 約30m)
- 現地の状況
ヌエバエシハ州ジェネラルマメルトナティビダード町マナログ村
シティオパントックは、商業の中心地カバナトゥアン市から北東に
28.7 km 離れた内陸部に位置します。ジェネラルマメルトナティビ
ダード町の面積は 151.90km² で人口約 44,311 人(約 10,030 世帯)
が暮らしています。町の中に 20 の村があり、マナログ村は町の中
心部から 6 km 離れた農村地域にあります。村の人口は約 315 世帯
(約 1,302 人)で、村人の大半は農業、特に稲作や日雇いの仕事に
従事しています。
自分の土地を持たない農民が多いため、農繁期に地主に雇われて、
植付けや収穫を手伝って、一日 100~300 ペソ程(約 240~720 円)
の収入を得ています。一部機械化が進められていることから、仕事
がもらえないことも増えており、村で現金収入を得ることがさらに
難しくなっています。働き手となる世代がいる家庭では町に出
稼ぎに出ています。コロナによる移動制限や経済状況の悪化によ
り、仕事自体が少なくなっています。村人たちは竹やニッパ椰子、
トタン等で作られた小さな家をたて、家族のために野菜や果物、鶏
等をわずかなスペースで育て暮らしています。
シティオパントックは他の村からも遠く離れているため、同じ地域
に住んでいる人からもあまり知られていない小さな集落です。集落
には古い浅井戸が 1 基ありますが、飲料用としては安全な水質では
なく、また水量も少ないため村人が必要な水を得ることは、とて
も難しい状況にありました。農業用の水路まで水を汲みに行くこと
もありましたが、女性や子ども達にとって大変な重労働でした。こ
の集落の子ども達は、水が原因でお腹を壊したり病気になったりし
ても、病院で治療を受けたりミネラルウォーターを買って飲むこと
ができずにいました。
この度、株式会社ユニコーンの皆様が生井戸をご寄贈くださったお
かげで、マナログ村 シティオパントックで、安全な水を得ることが
可能になりました。村人にとって、毎日十分な水を飲みことができ、
家族が健康で過ごせることは何物にも代えがたい大きな喜びです。
また、衛生的な水が村で使えることで、感染症から身を守るための

手洗いやうがい、入浴もできるようになり、清潔に過ごせることはとても大きな生活の変化になりました。
 今まで毎日どのように水を得るかた大きな悩みでしたが、井戸ができたことにより、水汲みに使っていた時間を他の仕事や勉強にあて安心して過ごせるようになりました。村では水管理組合を作り、井戸の水をみんなが平等に安心して使えるように管理してまいります。井戸をご寄贈いただき、本当にありがとうございました。機会がございましたら、ぜひ村に一度お越しいただきますことを願っております。皆様のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。

フィリピン地図



ヌエバエシハ州



マナログ村
 シティオパントック



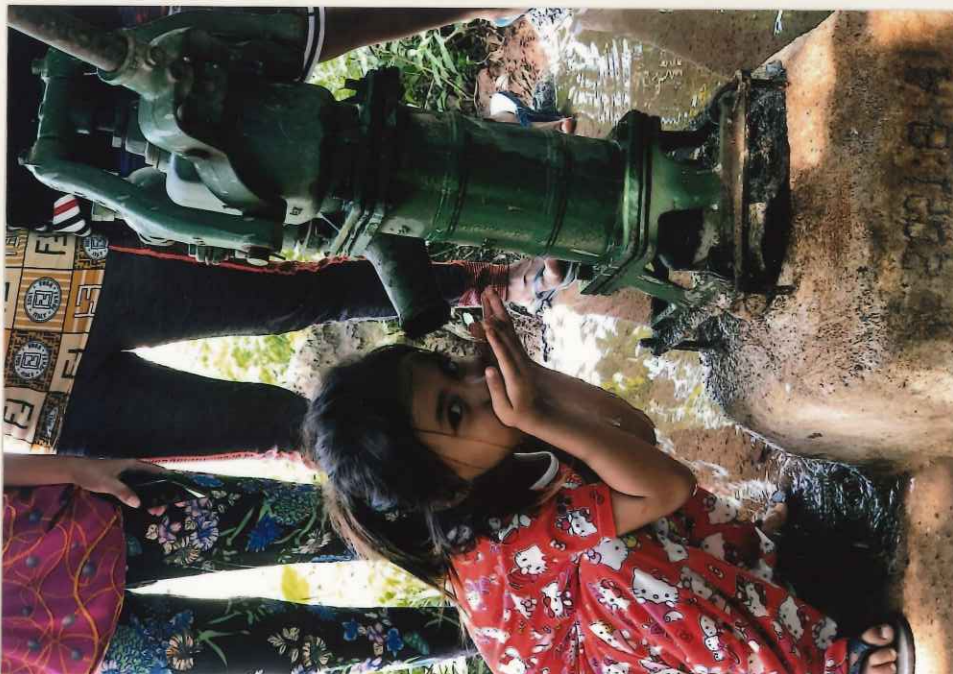
No. _____

完成 井戸と 村人達



No. _____

井戸に設置された
ネームプレート



No. _____

子どもやお年寄も
安心して飲める
良い水質の水が
得られるようになり
ました

No. _____

村の様子

竹やニッパヤシトクン
でつくられた家々



No. _____

安全な水により
家族が健康に
過ごせるように。



No. _____

農繁期に小作人
として収入を得て
います。



2023年1月25日

株式会社ユニコーン

代表取締役 中野 恵司 様

拝啓

厳寒の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

日頃より本会の活動にご理解頂きましてご支援、ご協力賜り心より感謝申し上げます。

先般ご寄贈いただきましたフィリピンの井戸が完成致しました。ここに完了報告書と写真および、井戸の写真パネルを送付させていただきます。

コロナ禍による移動制限等、現地の事情等により建設及びレポートや写真が大幅に遅れご報告するのが大変遅くなってしまい、誠に申し訳ございませんでした。心よりお詫び申し上げます。今後は少しでも早くご報告できるよう、現地提携団体と協力体制を組み、おこなってまいります。

報告書にも記載させていただきました通り、フィリピンヌエバエシハ州ジェネラルマメルトナティビダード町マナログ村 シティオパントックの人々は、株式会社ユニコーンの皆様のご支援とご協力に心より感謝しており、生活改善の大きな一歩を踏み出すことができました。新型コロナウイルスの感染拡大が心配される中、衛生的な水で手洗い等ができることは、村人たちの大きな安心につながっています。本会及び現地NGOのスタッフも株式会社ユニコーン様からの井戸のご寄贈と現地の人々へのご支援に深く御礼申し上げます。

最後になりましたが、株式会社ユニコーンの皆様のご健康とご多幸と共に、益々のご活躍とご健康を心よりお祈り申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

公益社団法人 アジア協会アジア友の会 (JAFS)

会 長 篠原 勝弘
海外プロジェクト委員長 福澤 邦治
事務局 長 村上 公彦
フィリピン担当 岡本 佳子

大阪市西区江戸堀 1-2-14 肥後橋官報ビル 5F

TEL: 06-6444-0587 FAX: 06-6444-0581

Eメール: asia@jafs.or.jp <https://www.jafs.or.jp>